

島山地区複合型津波避難施設
個別施設計画

令和3年2月

危機管理課

島山地区複合型津波避難施設 個別施設計画

目次

第1章	計画の背景と目的	3
第2章	概要	
	(1) 対象施設の概要	3
	(2) 対象施設の経緯	3
	(3) 計画期間	3
	(4) 施設の位置図	4
第3章	個別施設の状態	
	(1) 対策の優先順位の考え方	5
	(2) 個別施設の状態	5
	(3) 対策の内容及び実施	5

第1章 計画の背景と目的

本市の保有する公共施設においては、今後の人口減少や少子高齢化に伴い、施設の更新や補修等に要する財源の減少が見込まれることから、公共施設の老朽化の対応は大きな課題となっています。

そのため、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」を経営方針とする「宮崎市公共施設等総合管理計画」を、平成29年2月に策定しました。また、同計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める「個別施設計画」を策定することで、施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況等を踏まえた長期的な視点から、長寿命化型の維持管理を計画的に行うとともに最適な公共施設サービスの提供、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的とします。

第2章 概要

(1) 施設の概要

施設名	概要	
島山地区複合型 津波避難施設	所管課	危機管理課
	所在地	宮崎市大字熊野 1374 番地 43
	竣工年度	平成 28 年度
	敷地面積 (㎡)	912
	延床面積 (㎡)	457.2 (※消防団車庫は除く)
	構造 (階数)	鉄筋コンクリート造 (3 階)
	用途	津波避難施設他
	収容人数	400 人 (1 人/0.5 ㎡)

(2) 施設の経緯

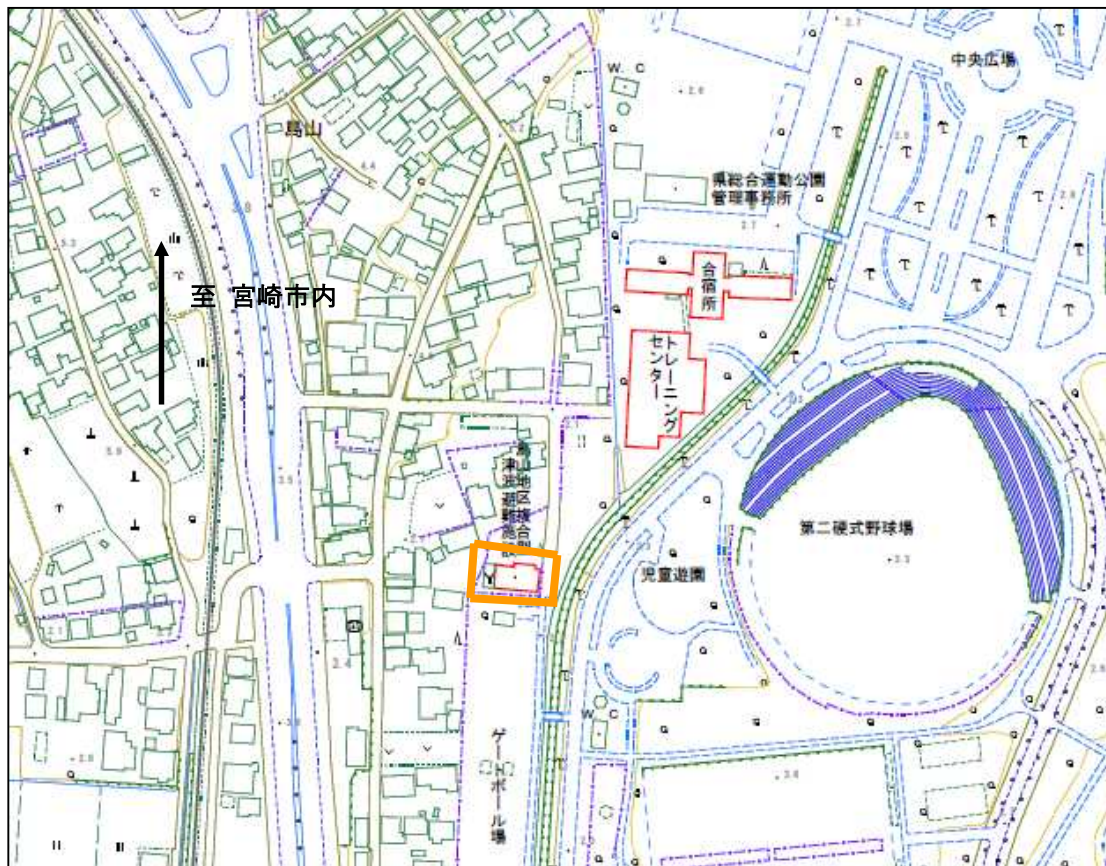
当該施設は、南海トラフ巨大地震で甚大な被害が予想され、地震・津波発生時の特定避難困難地域である本市の熊野・島山地区において地震・津波発生時に周辺住民が速やかに避難し、安全を確保するための緊急避難場所として設置された施設です。

(3) 計画期間

本計画の期間は「宮崎市公共施設等総合管理計画」に合わせて、令和3年度から令和9年度までの7年間とします。

ただし、社会情勢の変化や関連する計画の策定・改訂など、本計画に大きな影響を与える事象が発生した場合は適宜見直しを行います。

(4) 施設の位置図及び写真



外観



内観（3階部分）



第3章 個別施設の状態及び対策

(1) 対策の優先順位の考え方

当該施設の方針として、鉄筋コンクリート造の建物であることから目標耐用年数80年とし、計画的な修繕等により施設の長寿命化・ライフサイクルコストの縮減を図ることとします。

当該施設は平成28年度の建設から約4年を経過したところであり、令和2年度に行われた「定期点検」でも、老朽化が懸念される段階ではありませんでした。今後も継続して定期的な点検、予防保全型の維持管理を行い直接的な人的被害につながる箇所については優先的に改修します。

また、施設運営に影響を及ぼす設備についても必要な範囲で予防保全改修を行います。

【長寿命化方針】 目標耐用年数 80 年

改修時期として、築年数 20 年、40 年、60 年経過を目処に現地施設状況を確認の上、大規模改修や長寿命化改修を検討します。

(2) 個別施設の状態

●定期点検（令和2年8月24日実施分）

※建築住宅課が3年毎に行う定期点検の結果を参照。

調査箇所	種類・形式等	点検の判定項目	判定結果
屋上回り	屋上回り (屋上面を除く)	排水溝(ドレーン含む。)の劣化及び損傷の状況	ドレーン回りに堆積物(排水詰まりの原因になるので定期的な清掃が望まれる。)

(3) 対策の内容及び実施

①対策の内容

令和2年度に実施した「定期点検」によると大きな損傷等の異状は見られませんでした。経年劣化を最小限に留めていく対策として、今後も定期点検及び設備の保守点検の結果を踏まえ、適切に維持管理を実施します。また、計画期間内においては、予防保全の実施は予定していませんが、今後も建物外部、内部設備についての定期的な点検を通して施設状況の把握に努め、適切に施設の維持管理を行います。

なお、今後の施設方針については、適宜、施設評価によって判断していくこととします。

